

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院 麻酔科に、全身麻酔下で非侵襲的血压モニター監視を受けたことのある患者さんへ

和歌山県立医科大学麻酔科学教室では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

全身麻酔導入時におけるフィンガーカフを用いた非侵襲的循環モニタリングの精度評価

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学麻酔科学教室 講師 栗山俊之

3. 研究の目的

全身麻酔に使用する鎮静薬などの影響によって血圧が変動することは知られていますが、血圧の変動を連続的に評価する事は困難でした。近年苦痛を伴わない（非侵襲的）循環モニターが使用されるようになってきました。そこで全身麻酔導入時における非侵襲的循環モニタリングの有用性を調査することとなりました。

4. 研究の概要

(1)対象となる患者さん

全身麻酔を受けた患者さんで、平成 28 年 5 月 1 日から平成 28 年 12 月 1 日までの期間中に、麻酔科でフィンガーカフという新しい機器を用いて、指先で血圧を測定された方が対象となります。

(2)利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは以下に示すものです。

年齢・性別・身長・体重・内服薬・既往歴・血圧(収縮期血圧、拡張期血圧、平均血圧)・心拍数

(3)方法

得られた情報をもとに非侵襲的循環モニタリングの有用性を調査します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。また新たな研究を計画する際に得られた情報を活用させていただく場合がありますが、その際も患者さんの個人情報が公表さ

れることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学麻酔科学教室 担当医師 栗山俊之

TEL:073-441-0611 FAX:073-448-1032

E-mail: kuriyama@wakayama-med.ac.jp